夏の思い出『北海道』

～児童・生徒県外研修～

青少年育成事業の一環として実施されている町教育委員会主催の児童・生徒県外研修が、今年も北海道厚岸（あっけし）町で7月30日から2泊3日の日程で行われました。

参加した26名の子供達は夏の北海道を満喫し、大自然の中楽しい思い出をたくさんつくってきたようです。

楽しかった北海道

横芝小学校　6年　越川　将貴くん

ぼくは、7月30日から2泊3日で町主催の児童生徒県外研修で北海道厚岸町に行きました。釧路空港について飛行機から降りると、寒く感じました。バスに乗りタンチョウヅルで有名な釧路市丹頂鶴自然公園に行きました。

その公園に着くと、池のほとりにいる鶴や空を飛んでいる鶴がいました。合計30羽位の鶴は、真っ白な体できれいだったのでぼくは、写真をとることにしました。しかし、その鶴たちにそっと近づくと、鶴は人の気配を感じて逃げてしまう鶴もいました。

次に、マリモで有名な阿寒湖に行きました。遊覧船に乗り、周りの景色を見わたしたり、湖畔をながめたりしました。2階からながめる景色は、最高で、冷たい風がぼくの体に当たり気持ちよかったです。

次の日は、パークゴルフをやりました。たくさんのホールと障害物があってむずかしかったけれど楽しかったです。ホールインワンを出した人がいて、ぼくは出すことが出来ずくやしかったです。ぼくが、一番良かった成績は2打で入ったことです。少しはだ寒かったのでホールインワンを出せなかったのだと思いました。

そして次に、別寒辺牛川に行きカヌーに乗りました。栗山川くらいのひろい川でした。3人乗りのカヌーに乗るのは初めてで、みんなバランスよくこぐのが難しかったです。でも、終点までこぎつけると気持ちよかったです。

次に七宝焼きをつくりました。係の人がていねいに教えてくれたけれど、はじめてつくった七宝焼きで色の合わせ方が難しかったです。

でも、焼きあがった自分の作品を手にとって見ると、とてもきれいにできていました。その七宝焼きは、おみやげとして持ち帰り家族に見せると、「上手だね。」とほめられてぼくは、うれしかったです。

厚岸町に行き、いろいろな体験をすることができて思い出がたくさんできました。